

平成 1 8 事業年度 国立大学法人九州大学決算報告書

平成 1 9 年 6 月

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	50,440	50,440	-	
施設整備費補助金	3,719	3,719	0	
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	350	525	175	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	3,137	3,137	-	
自己収入	36,500	38,033	1,533	
授業料、入学料及び検定料収入	10,995	10,880	115	(注2)
附属病院収入	25,068	26,456	1,388	(注3)
財産処分収入	62	101	39	(注4)
雑収入	375	595	220	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	8,314	11,695	3,381	(注6)
長期借入金収入	2,167	2,165	2	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	10	10	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	1,721	956	765	(注7)
計	106,348	110,680	4,332	
支出				
業務費	72,849	66,588	6,261	(注8)
教育研究経費	48,688	36,799	11,889	
診療経費	24,161	29,789	5,628	
一般管理費	10,356	11,569	1,213	
施設整備費	9,023	9,021	2	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	350	521	171	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	8,314	11,701	3,387	(注10)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	5,397	5,356	41	(注11)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	59	99	40	(注12)
計	106,348	104,856	1,492	
収入 - 支出	-	5,825	5,825	

予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、申請件数の増加をはじめとして全学的に補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して175百万円決算額が多額となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として博士課程の学生定員が未充足のため、予算額に比して決算額が115百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、手術件数の増加及び患者数の増加等の結果、予算額に比して決算額が1,388百万円多額となっています。
- (注4) 農学部附属宮崎演習林の土地の譲渡面積増加等により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として当初見込みになかった消費税還付収入、学校財産貸付料収入、演習林収入及び損害賠償保険金収入の増収等により、予算額に比して決算額が202百万円、さらに特許権取得に努めたことにより特許権及び著作権に係る収入が12百万円、計220百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、申請件数の増加をはじめとして全学的に外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して3,381百万円決算額が多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、主として目的積立金の使用年度の変更により、予算額に比して決算額が765百万円少額となっています。
- (注8) 業務費については、主として教育研究環境の充実を目指したキャンパス移転事業等を円滑に推進するための必要経費の捻出を目的として、全学的に経費の節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が6,261百万円少額となっています。
- (注9) (注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が171百万円多額となっています。
- (注10) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,387百万円多額となっています。
- (注11) 長期借入金償還金については、借入計画の変更により、予算額に比して決算額が41百万円少額となっています。
- (注12) (注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が40百万円多額となっています。